

<週報No. 2, 949> 3, 060 回例会

2021年7月16日(金)

◆会長／北川 和彦 ■幹事／飯田 兼光

◆司会＝玉本 広人 SAA

◆ゲストビジター＝本日はいらっしゃいません。

◆出席報告

本日	100.00%	0名欠席
前回訂正	100.00%	0名欠席

◆ラッキーナンバー＝No.21 三井 章義君

◆ニコニコボックス＝●北川和彦君、飯田兼光君＝出席委員会の皆さん、皆勤表彰よろしくお願ひ致します●三井章義君＝皆勤賞をありがとうございました●折井俊美君＝皆勤賞をいただきました。ありがとうございました●山崎晃君、八幡一成君＝親睦委員に請求されて●宮坂康弘君＝出席委員会の皆さん、本日は皆勤表彰よろしくお願ひします●玉本広人君、橋詰将慎君、花岡秀則君＝小島会員、似顔絵のご手配、ありがとうございました。少々照れております●川村総一郎君、小島拓也君、合田敦子君＝皆様ニコニコBOX出して頂きありがとうございます●竹上幸浩君＝結婚記念日のお花をいただいて●吉越潔＝結婚記念日のお花、ありがとうございました●三井章義君＝ラッキーNo.に当って。

◆会長告知・北川和彦会長＝親睦クラブ親善委員会の企画で会員の似顔絵が作成され、先日小島前委員長からメール配信を受けました。私は個性のない顔で、座席表が送られてくるまでどれが自分か判りませんでした。コロナ禍でもできる企画を工夫して楽しいロータリークラブにしたいと思ひます。

ところで葬儀社の太田屋さんから「りんごの会通信」というPR誌が先日送られてきて、興味深かったので紹介します。東北大学と京都大学の共同研究で、家族を亡くした240世帯にアンケート調査を行った結果が、昨年、東北大学より死生学の国際学術誌に掲載されたというものです。驚くべき事が書かれていたので、原典にあたってみました。日本は古来より葬送儀礼や墓参り等を通じて故人と「続く絆」を持ち、死別悲嘆(グリーフ)をいやし、世界的にも賛美されてきたが、少子高齢化、核家族化、価値観の多様化によって健全な慣習が激変しつつあること

アンケートの動機で、その結果は以下の3点です。①死別悲嘆が深刻なほど、生産性が落ち仕事の病欠が増え、精神的・身体的な疾患を抱え、より多くの医療福祉に頼る傾向がある。②葬送儀礼に満足し、健全な形で死者との関係を保てる人には、上記のような傾向が低い。逆に葬送儀礼に不満を抱え、死を受け入れられない遺族ほど、後々精神的・身体的な不調をきたし、医療福祉に依存する傾向がある。③葬送儀礼にかかる費用が高いと回答したのは、低所得層の遺族ではなく、葬儀を省略したり密葬にしたりした遺族であり、葬送儀礼にお金をかけなかった人々が、長期的には医療福祉を頼ることになり、多くの医療費を支払う傾向にある。

この研究をしたカール・ベッカー京都大学特任教授は、日本人には死別悲嘆と日常生活のバランスをとりながら生きる経験知がある、多死社会日本の精神的・経済的打撃への対策を探求し、世界に認めて頂きたいとのこと。人が亡くなる原因は様々で、このように単純化していいのか疑問です。家族葬が多くなり葬儀の規模が小さくなることは、それ自体は無駄な出費がなくなって良いことだと思いますが、いたずらに葬儀を省略したり、簡素化することは考えものです。死者に感謝する、死者に今後の見守りを願ひすることは大事な心情で、葬送儀礼にこれらの効用があることを知っておくことは大事ではないかと思ひます。

◆幹事報告・飯田兼光幹事＝①本日のクラブ協議会は、出席委員会の皆様による皆勤表彰です。②森会員よりご指摘頂きましたクラブ計画書の訂正書を配布させて頂きました。③先週、熱海豪雨災害義援金について2600地区として義援金をお送りする旨、報告させて頂きましたが、桑澤ガバナーより説明書が届いております。④青少年交換派遣留学生募集要項が届いております。⑤第2580地区 若林ガバナーから「第19回ロータリー全国囲碁大会の案内状」が届いております。⑥第3回の理事会報告させて頂きます。7月30日の納涼例会は、昼間の例会へ変更。お弁当持ち帰りとする事で承認しています。12月17日の忘年会日程変更について、12月21日(火)へ変更する事で承認されました。新会員の1回目の承認が行われました。⑦次週23日は法定休日となっております例会はございません。7月30日に予定されております納涼例会は、昼間の通常例会に変更、例会内容はプログラム委員会によります会員卓話で、合田親睦・クラブ親善委員長に卓話を

頂きます。

◆委員会報告

●青少年奉仕委員会 宮坂康弘委員長=13日、ローター



アクトクラブの初例会が行われ、地区ローターアクト小委員会委員の玉本広人会員と出席をしました。アクトの今年度のクラブテーマは「結ぶ」ということです。アクト同士の交流を結ぶ、活動によって地域との交流を結ぶ、すべての活動を未来に結びつけていくという意味があるそうです。主な年間行事として創立40周年記念式典を来年6月に計画をしていて、協力依頼がありました。こちらからは10月9日に予定されている「ロータリー奉仕デー」の諏訪湖、岡谷、岡谷エコー、諏訪の諏訪湖周4クラブ合同の諏訪湖清掃に参加をお願いしました。

◆クラブ協議会・出席率向上・表彰 善治直樹委員長=



昨年度の皆勤表彰の対象者は35名です。全体の76.0%で、前年の64.5%から、8.4%向上しました。2018-19年度が24名、2019-20年度

が31名と昨年度に続き、上昇致しました。内訳は30年以上が5名、20年以上30年未満が4名、11年以上20年未満が5名、10年以下が21名です。初めて皆勤賞を受賞された方が6名です。昨年度の例会は27回開かれました。出席率は95.51%、訂正後は97.98%、一昨年(2019-20)は75.98%、訂正後は88.85%、出席率は19.53%、訂正後で9.13%上昇しました。ちなみに、コロナ禍による全員100%の分を除くと出席率69.69%、訂正後で86.39%になります。前年と比べて、出席率は19.53%、訂正後で9.13%上昇しました。会員数は多くが48名で、時として47名、49名で推移しました。会員数は前年度で48名ですのでパーセントの含有率は1人当たり、2.12%となります。一人ひとりの出席がとても大切です。コロナ対応で大幅増加となっておりますので、通常対応の際の欠席の多い方にどのように出席を促すかを考えていく必要があるかと思えます。出席員会では引き続き例会の案内を毎週お送り致します。また、メーカーアップのルールもありますので、委員会や幹事会な

ども積極的にご出席して頂き、出席率向上につなげて頂ければと思います。

皆勤賞●1年目=合田敦子

君、善治直樹君、平林正光君、花岡秀則君、小島拓也君、宮坂直孝君●2年目=

小平直史君、宮坂康弘君、北澤光彦君、五味武嗣君、橋詰将慎君、山本實君、岩波寿亮君●4年目=加藤明博君、小針哲郎君●5年目=飯田兼光君、山田文雄君●6年目=小口泰幸君●7年目=早出由男君●8年目=北川和彦君、川村総一郎君●11年目=伊藤武利君●12年目=古屋了君●16年目=小口武男君、玉本広人君、八幡一成君●25年目=朝倉英仁君、河西正一君●26年目=折井俊美君●30年目=山崎晃君●31年目=藤森郁男君●34年目=増澤洋太郎君●37年目=森幸俊君●38年目=有賀昭彦君●52年目=三井章義君

受賞にあたって ●三井章義会員=皆勤するために必要



なのは、ロータリーが好きでなきゃいけないと思います。何か例会の日が来ると行きたくなって、ここへ来るというよう様

になっていただければ、多分みんな皆勤になると思います。ロータリーには皆勤を救う道があります。一つはメーカーアップです。地区の行事、委員会へ参加も出席になります。昔はなかった制度ですけど、今は、相応の理由があり理事会で承認されれば出席になります。ぜひとも利用してください。昔は各クラブの出席競争がありました。2600地区のクラブ同士で出席競争をして地区で報告します。今は表彰しませんが昔は地区大会で100%クラブ、98%クラブと10クラブぐらいの地区大会で表彰されました。私が入った頃は出席、出席というふうにすると言われていました。手続き要覧なんか見ても、出席規定が載っていました。今は載っていませんが、それは全部生きています。ロータリーをぜひ好きになっていただいて、皆さんに会うのを楽しみにしていただいて、せつせと例会に出させていただいたり、様々な会合に出席していただければ、自然に皆勤賞をいただけるというふうになるんじゃないかと思えます。今日はありがとうございました。



●増澤洋太郎会員＝2004年-2005年、諏訪の歴史ある当



クラブの48代目の会長を仰せつかりました。幹事は朝倉会員で非常に助かりました。ロータリーは楽しまなきゃいけないということを

思っておりましたので、何かやらなきゃいけないと思い、私と朝倉さんの会長幹事の時に諏訪の文化センターで地区協議会を開催いたしました。県内の会員が740名ほど参加されました。大変良い地区協議会ができたと思っております。2004年7月30日には、韓国ソウルのカンフンロータリークラブと両国で合同例会を行いました。ちょうどその頃は、韓国ドラマの「冬のソナタ」が流行ったときでございました。それから2004年9月12日-13日には、愛知万博が開催されていまして、瀬戸クラブと合同懇親会と、万博会場での例会を一泊二日のバスハイクで行いました。2013-2014年には、米山奨学生の王玉洪さん、諏訪東京理科大の留学生でしたけども、カウンセラーを2年間務めさせていただきました。大変素晴らしい学生さんでした。中国丹東に行って、ご両親ともお会いして食事をいたしました。大変素晴らしいご両親でございました。

やっぱり楽しんでロータリーに出席することが長続きすることだと思っておりますので、ぜひ皆さん、30年35年、40年勤続をどうぞ心がけていただきたいというふうに思います。ありがとうございました。

●藤森郁男会員＝人生の半分にあたる40年間、よく続



いたなと思います。出席委員長をやったときには会員数が60数人いまして、いつも会場がいっぱいになっちゃいまして、出席委員会

はいつも廊下で昼食食べた記憶があります。いろんな方とお知り合いになっていろいろ教わりました。このロータリーのいいのは、若い人もいるし、年を取った方もいること。私は若い頃、運転手として地区大会とかに先輩方を乗せて出席しました。その車中で、先輩会員がいろんな話をしてくれるわけです。そのことが今になってみると非常に良かったという感じがします。正式の場ではないので、いろんな面白い話も聞きますし、親父の代の人たちで、そういうような話が大変参考になりました。

若い時にカナダとかへ行くことが多かったのですが、ロータリアンならと例会に誘われて、そこでいろんな国柄といますか、そういうようなことを非常に感じたということもあります。諏訪の町の話をしろっていうので、私の町は人口5万くらいの工業都市でセイコーエプソンという会社がありますって言いましたら誰も信用しない。これを信じさせるのに市役所のパンフレットまで使って説明しました。農業祭でロータリーの店の手伝いしたら、幹事がよく働いたから、メーキャップをしてやるから、これ持って帰れって言われてなんかメーキャップのカードをもらったこともあります。やっぱり外国へ出てもロータリアンはいいもんだなというふうに思ったこともありました。皆さんに大変ご厄介になりました、本当にありがとうございました

◆今後の例会日程

7月23日	金	準法定休日
7月30日	金	クラブフォーラム（会員卓話）
8月6日	金	家族例会（納涼例会）